

## 『群馬県近世寺社総合調査報告書』の刊行について

県では、寺院・神社の優れた彫刻や彩色などの装飾が目立つ近世の建造物とそこに所在する文化財について、一般社団法人群馬建築士会に委託して調査を行い、その成果をまとめた報告書を刊行しました。

### ○報告書の概要

調査した寺社の詳細（境内、由来や沿革、建造物の構造や特徴、図面・写真等）のほか、寺社の歴史的役割、本県の近世寺社建築の特徴と工匠、寺社建築保護の現状と課題、寺社にまつわる各種文化財などの論考を掲載しています。

- (1) 書名 『群馬県近世寺社総合調査報告書—歴史的建造物を中心に—』
- (2) 構成 全3分冊（①本編、②寺院編、③神社編） 総頁数約1,250頁
- (3) 部数 書籍200部、DVD400部
- (4) 刊行日 令和4年3月18日

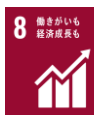
### ○報告書の配布先

- (1) 書籍
  - ・県内各地の図書館
  - ・県民センター
  - ・市町村教育委員会（文化財保護行政主管課）
  - ・県内の大学ほか
- (2) DVD
  - ・調査へ協力してくださった寺社等
- (3) 報告書データの公開
  - ・準備ができ次第、報告書の内容をインターネットで公開します。

※有償頒布の計画はありません。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 近世寺社総合調査について

### ○調査の目的

- ・近世寺社の装飾建築や伝統文化をしっかりと調査して、今まで知られていなかった新しい価値や魅力を明らかにし、報告書・パンフレット・寺社アプリ等により、その魅力を広く発信して、県民の誇り醸成と観光振興につなげます。

### ○調査の対象

- ・国や地方指定文化財建造物がある寺社
- ・市町村や建築史の研究者からの推薦を受けた寺社

### ○調査の方法

- ・国や地方指定文化財となっている、価値が高いと判断された寺社は本調査を実施し、それ以外の寺社は予備調査を実施し、歴史的価値が高いと判断された寺社について本調査を実施しました。
- ・予備調査では、現地での確認や聞き取りをして、由来や沿革などの寺社の概要や所在する文化財、建物の構造や装飾、建造年代などを調査しました。
- ・本調査では境内図及び建物平面図を作成しました。

### ○調査の成果

- ・昭和50年代から平成初期にかけて行われた「近世社寺建築緊急調査」以降で、都道府県としては初の独自調査を実施し、建物だけでなく、民俗や行事なども含めて幅広くとりまとめました。
- ・国指定から未指定まで含めて、県内の歴史的寺社建築を数多く調査し、その建造年代や工匠など広く記録することができました。
- ・近世装飾寺社建築において、時代とともに彫刻が施される範囲が拡大し、より立体的になっていくなど精巧な装飾の発展過程を確認することができました。
- ・棟札（建築年代や施主・工匠などを記載して棟や梁に打ち付けた板）を調査することにより、戦国時代から明治時代までの多くの大工や彫物師の活躍が分かりました。彫物師では、関口文治郎に代表される田沢（桐生市黒保根町上田沢）や花輪（みどり市東町花輪）など、東毛の彫物師集団が多くの県内近世寺社建築に関わっている実態が明らかになりました。